

五中だより



第12号

令和8年2月5日

文責：教頭 今井 拓也

学校教育目／標人間性豊かで、主体的に問題を解決する生徒
基本目標／①心の豊かな生徒 ②自ら考え、実践する生徒
③健康で、たくましい生徒
生活の3重点／「あいさつ」「無言清掃」「時間を守る」



上田市立第五中学校 TEL 22-3076

学校 HP <http://www.school.unic.jp/ueda5/>

〒386-0003 上田市上野441

PC・スマホ用 QR

3学期始業式

学校長のお話

全校の皆さん明けましておめでとうございます。「明けまして」という挨拶には「希望」が込められていて、「明ける」とは、暗くて分からなかったものが分かるようになること、明かりがつくなどの意味があります。午年（うまどし）は、明るく情熱的で行動力があり、チャンスを掴んで大きく飛躍しやすい年とされ、新しい挑戦や努力が実を結びやすいと言われています。第五中学校そして皆さんにとって2026年が明るく素晴らしい1年となるように願っています。今年もよろしくお願いします。

さて、各学年代表の皆さんに、3学期、新年の決意をしっかりと発表していただきました。皆さんもそれぞれ心に決めたことがあるのではないのでしょうか。今日から始まる3学期は、登校日数47日ととても短く、あっという間に過ぎていきます。

3年生は自分の進路実現に向けて勝負の時です。どんなに苦しくても、仲間と共に、受験という壁を乗り越えるよう日々の努力を最後まで最大限続けてください。そして同時に、第五中学校卒業に向けての1日1日ともなります。学級や学年の仲間と過ごす残された時間を大切にしてください。

2年生は、先輩方から伝統を引き継ぐ準備の時です。4月から五中の顔となり学校をリードする皆さんは、自分や自分たちの学年のよさや持ち味、可能性を大きく開花させてほしいと思います。これまでに以上に生徒会活動、学習、部活動などに積極的に真剣に取り組んでください。

1年生は、後輩から慕われる本物の先輩となるための準備の時です。1つ学年が上がるのが先輩になることではありません。1年間の成長が自分にもまわりにも感じられる、そんな3学期を過ごしてください。また、今の仲間と過ごす時間を大切にしてください。

さて、1日1日が大切になる3学期。皆さんにこの言葉を紹介します。

「一日生きることは、一歩進むことでありたい」これは物理学者で日本人初のノーベル賞受賞者、湯川秀樹さんの言葉です。今日1日を精一杯生きれば、たとえそれがほんの少しでも必ず成長につながっているはず。3学期のキーワードは「前進」です。常に一歩前に進むという気持ちを忘れずに1日1日の努力を積み重ねてください。その前進する気持ちが、成長や実現という結果につながるのだと思います。

3学期も、皆さんが健康で安全に過ごし、前進できるよう精一杯サポートします。共に頑張りましょう。

代表生徒の発表より

1年4組 IM. さん

「二学期の振り返りと三学期の決意について」

私は、今までの中学校生活を振り返って、二つの事が頭に残っています。一つ目は生徒会です。鳳祭や生徒総会、これらは生徒会が協力して作りあげて来たものだと感じました。中学生になって小学生の頃の児童会とは違い、最初は緊張していましたが、しかし、いざやってみると、先輩達が優しく分かりやすく教えてくれたので、楽しく活動することができました。他の学年と活動したり、クラスが全力で取

り組んだりしました。小運動会や鳳祭は、クラスや学年、更に生徒会の協力があったから成功したのだと思います。

二つ目で課題なのは勉強です。私は勉強が苦手です。一学期の最初の頃は「きっと大丈夫だろう」と思っていたのですが、いざやってみると全然違いました。分からない所だらけでテストは時間よりも15分ほど早く終わってしまいました。点数も低くてとてもやばいと思いました。そこから、勉強時間を増やしていきましたが、点数はあまり上がりませんでした。

でも、先生や友達、家族に教えてもらいながら、少しずつ点数が上がって来ました。点数は一度落ちてしまいましたが、少しずつ勉強が苦手ではなくなって来ました。

三学期の抱負は二つあります。

一つ目は、今言った勉強で予習と復習をし、授業に集中して取り組み、勉強時間を増やして、クラスの点数を上げていきたいです。

二つ目は、部活動のバレーボールについてです。3年生の夏の大会は北信越ベスト8のあと一步で全国大会でしたが、先輩達がすごくカッコ良く、私の目標になりました。新体制になり、先生、部員の助けや協力で、大変なことも乗り越えられていると思います。私の今年の抱負は、試合で活躍することです。ジャンプ力をつけ、スパイクを強く打てるように、努力して行きたいです。そして、憧れの先輩たちのプレーに近づけるように、自身の甘えをなくし、一日一日を大切に過ごして行きたいです。

1年生としての生活も、残り45日となりました。たまたま同じクラスになった1年4組31人ともお別れです。さみしい気持ちもありますが、残り少ない日で、たくさんの思い出を作り、くいのないお別れにしたいです。

2年4組 M.T.さん

「三学期の決意」

僕の三学期の決意は二つあります。

一つ目は、勉強を頑張ることです。僕は、二学期の期末テストで自分が納得のできない点を取ってしまいました。そこで三学期から自分の勉強方法を変えることを決めました。今までの学習の時間や内容では、自分で納得できる点数を取れないことが分かったので、一つ一つの学習に今までより丁寧に取り組み点数を上げていきたいです。

二つ目は、時間を守ることです。僕は二学期に遅刻をしたり、2分前着席を忘れてしまったりすることがありました。三学期は時計をしっかりと見て、時間を意識して行動し、遅刻せず、2分前着席ができるようにしていきたいです。

三学期が終わると、最上級生である3年生になります。五中での生活も最後の一年です。

「共に過ごしてきた仲間と楽しい日々を過ごす。」「最後の大会に向けて部活動を頑張る。」

「修学旅行や鳳祭などの最後の行事を思い切り楽しむ。」

そんな一年にできるように、この三学期にしっかりと準備をしていきたいです。

3年4組 U.K.さん

「三学期に頑張りたいことについて」

初めに、この発表を聞く皆さんに一つ、念頭に置いてほしいことがあります。それは僕が学校に行っていないということです。今僕がこの場に來ているのはこの発表をするためであり、これから発表する事は学校以外で三学期頑張りたい事です。

まず一つ目は、「好きをもっと極める」という事です。僕は歴史に興味関心を持っていて、特にオスマン帝国史という随分とマニアックな分野に興味があります。将来この分野を専攻したいのですが、周りにこの分野を知っている人が殆どいないので、将来役に立ちそうな国語や英語は皆で、帝国史に関することや、英語以外に役立ちそうな言語であるトルコ語もまた大事なので、少しずつ勉強していきたいです。

二つ目は、「相手に寄り添える人になりたい」ことです。7月下旬に、上田市主催の平和学習があり、原爆が落とされた広島へ赴いて、当時の惨状や人々の復興スピードなど、様々なことを学んできました。特に、写真などの各史料に色濃く写されていた燦々たる様子に、どこか悲しみといった思いがでてきました。こんな絶望的な状況からあれほどの復興をとげたのには、様々な理由があるでしょう、その一つには「寄り添う」というものがあるでしょう。原爆により心身に負った傷へ寄り添う、このような人は人間の鑑といっても良いでしょう。僕も学校に行かないこの三学期を通じて、そんな人になりたいと思っています。

三つ目は、「将来を焦らず、今出来ることをやる」ということです。今期は卒業やその先の進路を強く意識する時であり、そのような時期に今出来ること、つまり英語や国語を中心に勉強していくことだと思います。

将来を見据えることも大事ですが、見据えすぎて焦ってしまうこともあるので、焦りすぎず、この「三学期」という期間を、安心して過ごせる場である家で、将来へ向けて精進して、自分なりに生きていきたいです。

これから始まる三学期から、卒業するその時、そしてそれ以降になっても、これら三項目を念頭に置いて、日々を過ごしていきたいです。

吹奏楽部

第52回東海アンサンブルコンテスト出場おめでとう！

第51回長野県アンサンブルコンテスト中学生の部に出場した吹奏楽部の打楽器三重奏の皆さんが、2月14日（土）松本市のキッセイ文化ホールで行われる、第52回東海アンサンブルコンテスト中学生部門（第49回全日本アンサンブルコンテスト予選）に出場します。

曲目「トリオ パー ウノ」 作曲:N.J.ジヴコヴィッチ

**全員のハートをシンクロさせて、
会場を三人の色に染め、
最高の鼓動（Beat）を会場に響かせろ！**



吹奏楽部 打楽器三重奏
東海アンサンブルコンテスト
キッセイ文化ホール（松本市）

2月14日（土）

祝
菅公学生服杯 第24回北信越新人バレーボール優勝大会
女子バレー部
3/14（土）
3/15（日）
ANCアリーナ（安曇野市）・三郷文化公園体育館（安曇野市）

女子バレー部 菅公学生服杯 第24回 北信越新人バレーボール優勝大会 出場おめでとう！

第一生命杯第41回長野県中学バレーボール選抜優勝大会に出場した女子バレー部の皆さんが、3月14日（土）15日（日）安曇野市のANCアリーナ、三郷文化公園体育館で行われる、令和7年度第24回菅公学生服杯北信越中学新人バレーボール優勝大会に出場します。

**一致団結！五中女子バレー部ならできる！
チームの絆で、限界を超えろ！
仲間を信じて、繋げ！**

地鎮祭・安全祈願祭で安全祈願・・・いよいよ体育館の建設始まる！



1月21日（水）屋内運動場地鎮祭及び屋内運動場建設工事・西棟回収工事安全祈願祭が行われ、いよいよ体育館の建設工事が始まりました。建設工事に関わる関係者は以下の通りです。

施主 上田市長 土屋 陽一
 設計者 久高設計・河田一級建築士事務所 設計共同企業体
 （株式会社久高設計 河田一級建築士事務所）
 施工者 建築主体工事：栗木・柳屋建設特定建設工事共同企業体
 （株式会社栗木組 柳屋建設株式会社）
 電気設備工事：石井電気工業株式会社
 機械設備工事：株式会社水工技研



豆知識

まめ知識

地鎮祭（じちんさい）とは、建物を建てる前、その土地の神様…氏神様（うじがみさま）に工事の安全や、完成後も住む人々が健康・繁栄することを祈願する神道の儀式です。

土地を掘り起こすことへの感謝と許しを乞う伝統行事で、通常は神主を招き、施主、建築関係者（設計者・現場監督・棟梁など）が参列します。祭壇には、お米、お酒、魚、野菜、果物などをお供えます。土地の神様を招く「降神の儀」から始まり、生い茂る雑草を鎌（かま）で刈り、土地を鎮める「刈初（かりぞめ）の儀」、砂山を鍬（くわ）で掘る「穿初（うがちぞめ）の儀」、掘り起こした土を鋤（すき）で平らに均し、土台を整える「土ならしの儀」を行います。続いて、各代表者が神様に玉串を捧げ、工事の安全と無事な完成を祈る玉串奉奠（たまぐしほうてん）が行われます。

※玉串とは神様が宿るとされる榊（さかき）の枝に、紙垂（しで）という白い紙をつけたものです。



2/3 建設事務所が建ちました



体育館の工期は、令和9年3月末に引き渡しを目標としています。令和8年度（現在の2年生）の卒業式は、サントミュージエの予定。令和9年度の入学式から使用可能となるかは、現時点では未定です。

同時に、西棟の改修工事が行われます。当初は部室と防災備蓄倉庫になる予定でしたが、部活動地域展開に伴い、部室ではなく、多目的に使える教室と備蓄倉庫の予定です。

校庭やテニスコートなど、外構関係の全ての工事が完了するのは令和9年6月中旬の予定です。